

平和行動in根室

9月19日(金)～20日(土) 北海道・根室市で「2003連合平和行動IN根室」が行われ、大橋副会長を団長に11組織から15名が参加しました。2日間行われたフィールドワーク「もっと知ろうよ。北方四島」や納沙布で行われた「ノサップ集会」では、不法に占拠された北方四島の歴史や元島民の声を聞き、また、岬からみえる北方領土を目前に、参加者は「更なる世論喚起」や「連合として何ができるのか」など数多くの思いを得ました。

○一人でも多く納沙布岬に立って北方領土問題について考える機会をもつことが意義ある結果をもたらす。また、政府に対する要望や市民運動としてどう返還運動を盛り上げていくのかが重要である。(太田地協・対比地弘志)

○文章などからでは、理解することの難しい何かを感じたが、実際に参加して得たこの思いを忘れずに職場等へと伝えて行けたらと考える。元島民の望郷の思いを叶えなければならない。それが我々国民の義務であり、権利でもあろう。

(サンデン労組・渡辺聰)

とつておきの 散歩道

No.5

秋(もう冬!?)も深まり、冷たい風が身にしみるようになりました。そして秋といえば、やっぱり食欲の秋ですよね!おいしいものをついつい食べ過ぎてしまい、おなかのお肉つまめていますか?

~さて今回は、ダイエットにも効果があるにがりの話~

いつも「楽して痩せたい~!!」と思っている私が、最近すごく気になっているのが“にがり”。

にがりとは、海水を煮詰めて塩を取り出した後に残った、地球上の生命の源ともいえる海の水をギュウっと濃縮してきた80種類以上の天然ミネラルを含んだ液体。お豆腐をつくる時に使うことで皆さんもよく知っていると思います。でも、なんでその“にがり”がダイエットにいいのかしら?と思って、ちょっと調べてみました。

編集後記

ホントに一年は、あっ!という間。連合群馬第8期も一瞬のうちに過ぎ去ってしまうのであります。流されず、何事も柔軟な姿勢で臨まなくては!

先日、学生の頃好きだった萩原朔太郎の詩集を久々に取り出し読んでみた。「ふらんすへ行きたしと思へどもふらんすはあまりに遠い…。」で始まる「旅情」を読んで、高望みせずにやるべき事を確実に実践し、行動する一年にしよう!と思うのでありました。イ

仲間の見えた時にああすれば良かったと、反省したくないものだ。

サン&グリーンフェスタ 草津やすらぎの森 in 2003



みどりを
大切にしよう!!

「次世代につなぐ豊かな環境づくり」の一環として「豊かな森林をとおして、自然と人間の共生をめざそう!」をテーマに、これまで実施してきた『草津やすらぎの森』森林整備。今年は、連合群馬と吾妻地協の共催で10月11日(土)、73名の構成組織組合員とその家族の参加を得て実施しました。今回も吾妻森林監督署スタッフに指導いただき、①整備作業(除伐、間伐、風倒木の整理)とやすらぎの森登山、②スイセンの球根植えとコースター作りの2つのコースに分かれてそれぞれ参加しました。

▼ご指導頂いた
吾妻森林監督署の湯田さん

草津やすらぎの森を登るとテレビ中継所があり、その近辺から浅間山を眺めることが出来ます。溶岩流の広場ではヒカリゴケも見受けられ、春になればレンゲツツジやシャクナゲ群落にお目にかかります。

コースターを作って▲
焼印を押したよ!!

あなたもぜひ、草津やすらぎの森を訪れて、自然と触れ合ってみてください! 森林の癒しが味わえますよ!



せい肉になりやすい「糖質と脂肪」。これらは、消化吸収速度が速いほど太りやすいのです。しかし、“にがり”にはその消化吸収速度を抑える働きがあります。だから、ご飯やパン、肉や揚げ物など同じ量を食べても太りにくくなるということなんです。

気になる“にがり”的飲み方ですが、“にがり”は天然成分ですから味噌汁やジュース、コーヒーに混ぜるなど、どんな飲み方をしても害はないということですが、ダイエット目的ならばコップ1杯の水(180cc)に“にがり”を2~3滴たらして1日に5~8杯飲むのが良いそうです。食事の前後か食事中に飲めばダイエット効果もアップ!! にがり水はペットボトル(1Lの場合はにがりを小さじ1/3杯くらい)に作り置きしても良くて、この場合、1日で飲み切るのが理想ですが、2~3日は保存可能とのこと。

キッチンと飲みづければ1週間から1ヶ月で効果が現れるそうです。

その他にも、“にがり”には便秘や美肌、アトピー、花粉症、養毛・育毛などにも効果があって、飲むだけでなく薄めたものを体に直接つけても良いということです。私も花粉症がひどいので、これから飲んで一石二鳥を狙おうかな~と思ってマスク^(^▽^)<井>

せいさんのこと

文字通りの改革に向けた第八期の活動が始まった。事務局の担当業務も変わり、合わせて総選挙も同時に進行する中で、改革方針に基づく新体制の立上げも少し大変な状況にある。

しかし、八期は一年間であり、残される実質活動期間が一〇ヶ月という状況にあっては、待ったなしの取り組みが求められている。

雇用支援機構・何でも相談・選挙対応・年間活動の実施計画・年金改革問題・新春労使合同セミナーなどなど、日程が迫った活動・取り組みは引きも切らない。

この機関紙が配布される時には、総選挙の結果が確定している頃であるが、流した汗が報われる。そんな明るい未来社会への入り口が展望できる結果を期待したい。

